

令和3年度入学式式辞

新入生の皆さん。また保護者の皆様。入学おめでとうございます。鳥取大学を代表して皆さんの入学を心より歓迎いたします。

新型コロナウイルス感染症と人類との厳しい戦いの終わりが、なかなか見えない今日この頃ですが、それでも自然豊かな鳥取で木々の芽吹きを見ると春の訪れを強く感じ、気持ち少しは明るくなります。このような状況の下、感染拡大防止のために2部制という変則ではありますが、本日ここに入学式を挙行できますことを心から嬉しく思います。

みなさんが学びの場、成長の場として鳥取大学を選んだのは大正解です。その理由の一つとして、キャンパスの近くに海もあり山もあり緑もあり自然豊かな落ち着いた環境の中で、自然に癒やされながら学業に打ち込むことができることがあげられます。もう一つの理由は、鳥取大学の位置する鳥取県が人口最小県で、人口減少や少子高齢化、過疎化などの日本社会が抱える課題の先進地域であり、これから私たちが目指さなければならない持続可能な社会の構築にむけての課題を直に見て学ぶことのできる場所だからです。

鳥取大学はそのような鳥取県の中で、前身校の時代から現在まで実学を重視して地域に寄り添い、地域の課題を地域のみなさんと一緒になって考え解決してきました。同時に、問題を解決する過程で普遍的な知識を見出し、それを広く世界に発信し学術の進歩発展に大きく寄与するとともに、人材育成と平和な社会の構築にも貢献してきました。このような歴史から本学の基本理念である「知と実践の融合」が生まれ、また、このような伝統を受け継ぎ「地域に根ざし、国際的に飛躍する大学」として活動しています。

さて、日本は、Society5.0と言われる「超スマート社会」の実現を目指しています。狩猟社会、農耕社会、工業社会、そして情報社会に続く5番目の社会、Society5.0ではIoTで全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、その結果、今までにない新しい価値が生まれます。また、AIによりロボットや自動走行の自動車、診療などが可能になり、少子高齢化、人口減少、地方の過疎化などの日本が抱える諸課題が解決できると言われています。現在、起きている新型コロナウイルス感染症の拡大、環境破壊、気候変動、社会の分断と対立などのさまざまな問題は、大量生産・大量消費、利潤追求を至上命題とする、これまでの資本主義のやり方を見直し、利潤だけを追い求めるのではない、別

の価値観を持った社会の実現が必要であることを強く示しています。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、Society5.0への移行は加速され、感染症が収束した後では、経済活動の在り方、人間生活の在り方が元に戻るのではなく、大きく違った形に変化することが予測されます。そういった新しい形の社会では、新たな資本主義のルール、民主主義のルールを作る必要があります。

新入生の皆さん、特に学部生の皆さんには、これからの4年間、6年間、鳥取大学において、基本理念「知と実践の融合」のもと、「知の基礎作り」に励んでもらいます。「知の基礎作り」とは、「自ら学ぶ姿勢」、「柔軟な考え方」、「的確に判断する力」などをきちんと身につけることです。「自ら学ぶ姿勢」とは、常に新しい知識を積極的に取り入れ、それを消化して自分の一部にすることです。まずは授業などで生じた疑問は、必ず自ら調べ、人に聞き、早めに解決するようにしてください。次に、授業や読書などで興味をもったテーマについては、文献資料などを利用して自分でさらに深く掘り下げ、身に付け、様々な場面で使える知識にすることです。また、「柔軟な考え方」とは、様々な視点、方向から考えることのできる力のことで、常日頃から自分の好き嫌いによらず物事を批判的、客観的に見るようにすることで身につきます。さらに、「的確な判断力」をつけるためには、自分にとって都合がよい悪いにかかわらず、全ての事実にきちんと対峙し評価し、事実だけに基づいて冷静に判断することです。4年後、6年後に皆さんが出て行く社会は、便利さを享受できる社会ではありますが、目まぐるしく激しく変動する社会でもあります。また、ひとりひとりの人権を守るためには、みなさんで新しい価値観、新しいルールを作り出す必要のある社会です。そのような社会においては、溢れる情報や噂、雰囲気に関わされないうで、現場に足を運び、自分の目で見て、自分の耳で聞いて、事実を見極め、事実に基づいて自分の頭で判断し、行動する。また、自分の行動に最後まで責任を持つ。そういった行動パターンが社会の一員として、ますます重要になります。そのための「知の基礎作り」です。

人生100年時代を迎えました。大学・大学院を卒業修了した後で、仕事以外の生活・人生があることも決して忘れてはいけません。人間性を重視した心豊かな生活を送ることが重要です。そのためには、学生時代から、学問だけでなく、読書をする事で色々な世界

観、人生観を学び、また、音楽や絵画、演劇など文化芸術に触れることで感性を磨き、教養を積み、生活を豊かにし、人生を豊かにする術も身につけておくことがとても大事です。

社会に出る前のこれからの時間、自然豊かな落ち着いた環境の鳥取大学で「知の基礎作り」に励み、専門的な知識、技術を習得し、それ以外の新しい様々な事柄にもチャレンジし、経験を積み、教養を積み、自分を磨き、大いに成長してください。私たち鳥取大学教職員もみなさんを全力でサポートします。みなさんの鳥取大学でのこれからの成長を心より期待して私の式辞といたします。

令和3年4月6日

鳥取大学長 中島廣光